

2016年3月3日

発行者：県議会議員 中川浩（49才）

入曽駅エレベーター使用開始。

次は入曽駅周辺整備を



3月1日、入曽駅のエレベーターがようやく完成し、使用が開始されました。このエレベーター設置は入曽駅利用者にとって長年の悲願でした。今回の設置は、市民団体『入曽駅にエレベーター設置を求める会』の大変な努力によって実現したものです♡

そして、県では、入曽駅周辺の整備をおし進めるべく現在、県道の用地買収を行っており、来年度、一部歩道の整備を行う事になりました。今後も市民の皆さんと1つ1つの実現を重ねていきたいと思っています。

入曽駅のエレベーター設置に、県の補助金は2340万円（事業費の1／6）

《県議会で2度、質問》 エレベーター設置

私が初めて県議会で、入曽駅のエレベーター設置について質問したのは3年前。まだ、エレベーター設置の予定が白紙だった時です。県議会の鉄道政策を担当する委員会（企画財政委員会）での質問でした。（中ページへ）

入曽駅 利用者数 15%減（10年前比）

詳しくは、裏ページに

県内にバリアフリー化がされていない駅が14あると県から報告があったのですが、入曽駅はバリアフリー化されていない駅に入っておらず、質問しました。

■中川ひろし委員

“駅のバリアフリー化”について質問させていただきます。

一般の県民の感覚で“バリアフリー化”されている状態がどんな状態かを考えますと、いずれの入口からも階段を使わずにエレベーターやエスカレーターを使ってホームまで行けると考えるのではないかと思います。

例えば、私の地元にある西武新宿線の**入曽駅**は、現在の国のバリアフリー化されたかどうかの基準では、「既にバリアフリー化されている」という中に含まれておりますが、実際には入口から反対側のホームに向かうにはエレベーター・エスカレーターが無く、階段を上り下りするしかない所があります。こうした実態を、県民に分かるような資料にして頂ければと思いますが、いかがでしょうか？

◆交通政策課長

入曽駅は、入口が2か所あり、両ホームにはスロープが設置されているものの、^こ跨線橋にはエレベーターがありません。こうしたことから、県としても地元の意向を踏まえ、エレベーターの設置を、西武鉄道に毎年要望しています。

このような例は西武池袋線の椎名町駅があり、駅総合改善事業で駅前広場の整備に合わせて橋上駅舎化し、バリアフリー化を実現しました。

入曽駅については、西武鉄道からは、駅東口の区画整理事業の計画が確定した段階で関係市町村と協議したいとの回答がありました。しかし、狭山市では最近、区画整理事業の実施を断念しています。よって、西武鉄道からの回答も白紙に戻ったと考えています。今後、西武鉄道と同市の検討状況を踏まえて対応してまいります。

なお、エレベーターやエスカレーターの設置場所などを含めたバリアフリーに関する駅の状況がどうのようになっているかについては、県のHPや交通エコロジーモビリティ財団のHPでも公表されているので、こうしたHPの活用を呼び掛けていきたいと考えております。(以上)

①入曽駅のエレベーター・エスカレーター
設置促進を

県内の乗降客が3千人以上の駅で、上り下りホームの両方の階段に、エスカレーターかエレベーターが付いていない駅はいくつあるでしょうか？

また県は狭山市の入曽駅のエレベーター設置について今後更に市と連携して早期実現に向け、取り組んで頂きたいと思いますが、企画財政部長のお考えをお聞かせ下さい。



答弁者：企画財政部長

まず、1日の乗降客数が3千人以上の駅で、上り下りホームの両方の階段にエスカレーターかエレベーターが付いていない駅は、平成25年末現在で、県内には入曽駅など15駅あります。

次に、狭山市の入曽駅のバリアフリー化促進の取り組みについてでございます。

入曽駅の上りホームと下りホームを行き来するには、構内の跨線橋を渡る必要がありますが、跨線橋には下りホームにしかエスカレーターが設置されていません。この為、車イス利用者は、跨線橋を渡って反対側のホームへ行けない事から、いったん駅から離れた所沢寄りの踏切を渡って、約400メートルも、う回しなければなりません。このような不便を解消する為には、まずはエレベーターの設置が不可欠です。

そこで、県では、地元狭山市と共に、西武鉄道に対して入曽駅のエレベーター設置を要望しているところです。

西武鉄道からは、現在、エレベーターが設置されていない駅が都内に複数存在する事から、まずはこれらの駅のエレベーター設置を優先的に行う計画であると聞いております。

県と致しましては、今後、県の補助制度の活用を提案するなどして、入曽駅のエレベーター設置の優先度を上げるよう、狭山市と連携して、西武鉄道に粘り強く働きかけてまいります。(以上)

児童劇団さやまカレッジアクターズ第8回公演『イザングラン～赤ずきんちゃんとオオカミ』

3/5(土)、6(日) 両日 16時開場 16時半開演 入間市文化創造アトリエ「アミーゴ」ホールにて
大人 600円 小中高校生無料 問い合わせ 090-8486-5958 うちあげ真理子

超高齢・人口減少社会の為に、電車の利用を！

埼玉県内での西武線の駅利用者数は、10年前と比べて（平成16→26年）**1.2%増**えている中、**入曽駅の利用者数は、15%減**っています（駅前に立っていると、減少を実感します）。狭山市駅では14.5%減。新狭山1.3%**増**。航空公園1.4%**増**。新所沢9.4%減。池袋線では、武蔵藤沢12.5%**増**。小手指2.2%**増**。所沢4.3%**増**。稲荷山公園21.5%減。入間市0.8%**増**という状況で、必ずしも、全ての駅が入曽のように減っている訳ではありません。

西武線全体の駅利用者の順位でいうと、入曽駅は、平成17年48位でしたが、26年には55位と、**順位を7つ落**としています。もちろん、東上線やJRなど他の鉄道との競争もあります。

超高齢・人口減少社会では、高齢で車の運転が出来なくなったり、鉄道・バスの利用者が減り、鉄道・バスの本数の維持が重要になって来ます。ベットタウンとして人口が増加し、都内への通勤者が多い狭山市にとっては、電車の利便性確保は1番の死活問題だと思います。

3年前、西武グループの株を保有していた米投資ファンドからの「西武秩父線の廃止提案」が報じられました。鉄道で100円の利益を出すのに、西武秩父線では費用が359円かかっているそうです。県では来年度、西武秩父線の利用促進事業を行います。

私は来年度も県議会で、鉄道政策の委員会を担当しますので、西武鉄道とも連携し、鉄道の利便性向上、利用促進策を提案・実現していきます。（なお、今年は宮沢賢治が埼玉・秩父に来て100年になります）

また、私は県庁などへ出かける際、電車を最大限利用しています。車を利用されている方、ぜひ電車もご利用下さい。電車だと、人に会えたり、本が読めたり、眠れたりします（^^）。ぜひ皆さんの力もお借りして、便利な住みよい市にしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ご意見・ご相談は



県議会議員

中川ひろし

ひろし事務所

狭山市中央4-25-4（マルエツの通り。高柳会計さんの向かい。選挙に関係なく常設）

電話090-3310-9234 FAX2936-8834

hnkgw@nifty.com

kids-dream@docomo.ne.jp

県議会 無所属改革の会 代表

ひろしの毎日の行動・発言をHPで公開中 ぜひ1度ご覧下さい！『**中川ひろし**』で検索